

# 福島原発事故後の親子の生活と健康に関する調査

このたびは、福島市、郡山市、二本松市、伊達市、桑折町、国見町、大玉村、三春町、本宮市の  
中通り9市町村の **2008年度出生の子どもをもつお母様（または、保護者）を対象に、9回目の  
アンケート調査**を行います。この調査の目的は、福島原発事故後の親子の生活と健康について記録  
し、次世代に伝えていくことです。本調査票に記載された個人情報は、統計的に分析した上で公表  
するため、公表する結果から個人が特定されることはありません。調査票がお手元に届きましたら、  
恐れ入りますが、**おおむね10日を目安にご返送くださるようお願いいたします**。なお、現在、上記の  
対象市町村外にお住まいの方で、お答えしにくい項目は記入されなくて結構です。

## 【お問い合わせ先】

### 福島子ども健康プロジェクト

事務局: 中京大学 現代社会学部 成元哲研究室

〒470-0393 愛知県豊田市貝津町床立101

TEL&FAX 0565-46-6516

E-Mail sungwonc@sass.chukyo-u.ac.jp

HP <https://fukushima-child-health.jimdo.com/>



(ふりがな) \_\_\_\_\_

お子さんのお名前 : \_\_\_\_\_ ( 男 ・ 女 )

回答者のお名前 : \_\_\_\_\_ (お子さんとの続柄 \_\_\_\_\_)

アンケートに答える日の日付 : 2021 (令和3) 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

以下は、当プロジェクトからのお知らせと調査票記入もれの確認などに利用させていただきます  
ので、さしつかえなければご記入ください。

電話番号 (自宅、携帯) : \_\_\_\_\_

メールアドレス : \_\_\_\_\_ @ \_\_\_\_\_





問4 そのお子さんのここ半年間の行動についておうかがいします。それぞれの項目について、あてはまるもの一つに○をつけてください。

	あてはま ない	まあ あてはまる	あてはまる
他人の気持ちをよく気づかう	1	2	3
おちつきがなく、長い間じっとしてられない	1	2	3
頭がいたい、お腹がいたい、気持ちが悪いなどと、よくうったえる	1	2	3
他の子どもたちと、よく分け合う（おやつ・おもちゃ・鉛筆など）	1	2	3
カッとなったり、かんしゃくをおこしたりする事がよくある	1	2	3
一人でいるのが好きで、一人で遊ぶことが多い	1	2	3
素直で、だいたい大人のいうことをよくきく	1	2	3
心配ごとが多く、いつも不安なようだ	1	2	3
誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける	1	2	3
いつもそわそわしたり、もじもじしている	1	2	3
仲の良い友だちが少なくとも一人はいる	1	2	3
よく他の子とけんかをしたり、いじめたりする	1	2	3
おちこんでしずんでいたり、涙ぐんでいたりすることがよくある	1	2	3
他の子どもたちから、だいたい好かれているようだ	1	2	3
すぐに気が散りやすく、注意を集中できない	1	2	3
目新しい場面に直面すると不安ですがりついたり、すぐに自信をなくす	1	2	3
年下の子どもに対してやさしい	1	2	3
よく大人に対して口答えする	1	2	3
他の子から、いじめの対象にされたり、からかわれたりする	1	2	3
自分からすすんでよく他人を手伝う（親・先生・子どもたちなど）	1	2	3
よく考えてから行動することができる	1	2	3
他の人に対していじわるをする	1	2	3
他の子どもたちより、大人といる方がうまくいくようだ	1	2	3
こわがりで、すぐにおびえたりする	1	2	3
ものごとを最後までやりとげ、集中力もある	1	2	3

## 次に、福島原発事故後の生活についてお聞きします

問5 ここ半年間、以下のようなことはありましたか。それぞれの項目について、もっとも近いもの一つに○をつけてください。

	あてはまる	どちらかといえば あてはまる	どちらかといえば あてはまらない	あてはまらない
地元産の食材は使わない	1	2	3	4
洗濯物の外干しはしない	1	2	3	4
放射線量の低いところに保養に出かけたい と思う	1	2	3	4
できることなら避難したいと思う	1	2	3	4
放射能の健康影響についての不安が大きい	1	2	3	4
福島で子どもを育てることに不安を感じる	1	2	3	4
原発事故によって親子関係が不安定になった	1	2	3	4
放射能に関してどの情報が正しいのか わからない	1	2	3	4
放射能への対処をめぐって 夫（配偶者）との認識のずれを感じる	1	2	3	4
放射能への対処をめぐって 両親との認識のずれを感じる	1	2	3	4
放射能への対処をめぐって 近所や周囲の人と認識のずれを感じる	1	2	3	4
原発事故の補償をめぐって不公平感を覚える	1	2	3	4
原発事故後、何かと出費が増え、経済的負担を 感じる	1	2	3	4
原発事故後、福島に住んでいることでいじめや 差別を受けることに対して不安を感じる	1	2	3	4

問6 あなたの**家族の生活**について、それぞれの項目について、**あてはまるもの一つに○をつけてください。**

	いつも	たいてい	ときどき	たまに	まったく ない
私の家族は、困った時、お互いに助け合う	1	2	3	4	5
家族の問題を解決する際には、子どもの意見も聞き入れられる	1	2	3	4	5
私の家族は、みんなで一緒に何かをするのが好きである	1	2	3	4	5
私の家族は、何か問題が起きた時、その取り組み方を柔軟に変えられる	1	2	3	4	5
私の家族は、いろいろな事についてよく議論する	1	2	3	4	5
家族の誰もが、お互いに強い結びつきを感じている	1	2	3	4	5
私の家族は、子どもが自主的に物事を決める	1	2	3	4	5
家族内の決まりごとは、その時々に応じて変わる	1	2	3	4	5
私の家族は、必要に応じて家事を分担する	1	2	3	4	5
私の家族には、常に中心的存在の人がいる	1	2	3	4	5

問7 あなたとお子さんの**健康状態**は、**福島原発事故による放射能の影響**をどの程度受けていると思いますか。それぞれの項目について、**もっとも近いもの一つに○をつけてください。**

	影響がある	少し 影響がある	ほとんど 影響がない	影響がない
<b>あなた自身について</b>				
あなたの現在の身体の健康	1	2	3	4
あなたの現在の心の健康	1	2	3	4
あなたの将来の身体の健康	1	2	3	4
あなたの将来の心の健康	1	2	3	4
<b>お子さんについて</b>				
お子さんの現在の身体の健康	1	2	3	4
お子さんの現在の心の健康	1	2	3	4
お子さんの将来の身体の健康	1	2	3	4
お子さんの将来の心の健康	1	2	3	4



問11 あなたの生活において、何かと助けになってくれる人は何人いますか（同居家族を含む）。

人

以降の質問では、その方々のうち、思い浮かんだ順に 5人までについてお聞きします。1人目の方から順に、Aさん（ ）、Bさん（ ）、Cさん（ ）、Dさん（ ）、Eさん（ ）とします。5人に満たない場合は、思い浮かぶ方々の人数分だけ、お答えください。上記の（ ）内は、その方々がどなたであるか、ご自分でわかるように、イニシャルや愛称などをご記入ください。

11-1 上で上げていただいたそれぞれの方とは、どのような間柄にあたりますか。あてはまる番号一つを下記から選んでください。また、それぞれの方からどのようなサポート（援助）を受けていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

**間柄**

- |            |              |                       |
|------------|--------------|-----------------------|
| 1. 夫または妻   | 5. きょうだい     | 9. 同じ組織や団体に加入している人    |
| 2. 自分の親    | 6. その他の家族・親戚 | 10. 友人・子どもを通じて知り合った友人 |
| 3. 夫または妻の親 | 7. 近所の人      | 11. インターネットで知り合った人    |
| 4. 子ども     | 8. 職場や仕事関係の人 | 12. その他（ ）            |

**サポート（援助）内容**

- |                               |
|-------------------------------|
| 1. 重要なことを話したり、悩みを相談したりする      |
| 2. 人手がいるときに気軽に手伝いを頼める         |
| 3. 気軽に世間話ができる                 |
| 4. 困ったときに必要なアドバイスや情報の提供をしてくれる |

	間柄 (いづれかあてはまる番号を一つ)	サポート（援助）内容 (あてはまるものすべてに○)			
Aさん		1.	2.	3.	4.
Bさん		1.	2.	3.	4.
Cさん		1.	2.	3.	4.
Dさん		1.	2.	3.	4.
Eさん		1.	2.	3.	4.



問12 あなたのお住まいの地域で、最近、原発事故や放射能について話題にしにくいと感じますか。

1. 感じる
2. どちらかといえば感じる
3. どちらかといえば感じない
4. 感じない

問13 あなたのお住まいの地域で、最近、原発事故の風化を感じますか。

1. 感じる
2. どちらかといえば感じる
3. どちらかといえば感じない
4. 感じない

問14 原発事故後の取り組みについてどの程度、評価しますか。

それぞれの項目について、あてはまるもの一つに○をつけてください。

	評価する	ある程度 評価する	あまり 評価しない	評価しない
国	1	2	3	4
福島県	1	2	3	4
お住まいの市町村	1	2	3	4
東京電力	1	2	3	4



## コロナ禍での生活についてお聞きします

問15 コロナ禍の生活で、原発事故後の生活と重なることはありますか。

1. 重なる
2. ある程度重なる
3. 重ならない → 「3」を選ばれた方は、「15-2」へお進みください

15-1 (問15で「1」と「2」を選ばれた方にお聞きします。)

重なるのは、どのようなことですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |                      |                                    |
|----------------------|------------------------------------|
| 1. 自分の体調が気になった       | 14. 友人・知人との温度差                     |
| 2. 子どもや家族の体調が気になった   | 15. 家族・親族との温度差                     |
| 3. 仕事(の継続)が気になった     | 16. (原発事故・コロナ禍)前の生活を取り戻<br>したいと思った |
| 4. 仕事なくなった(失業)       | 17. (原発事故・コロナ禍)前の生活を見直し<br>た       |
| 5. 収入が減った            | 18. 将来への不安                         |
| 6. ニュースが気になった        | 19. もやもやした気持ち                      |
| 7. 何が正しい情報なのかわからなかった | 20. 人の目が気になった                      |
| 8. 出費が増えた            | 21. 汚染源・汚染地域への差別                   |
| 9. 気軽に外に出ることができなかった  | 22. わかりあえないという思い                   |
| 10. 家族で過ごす時間が増えた     | 23. その他(具体的に)                      |
| 11. 家族が離れて暮らすことになった  | ( )                                |
| 12. 運動不足になった         |                                    |
| 13. 外出時のマスクの着用       |                                    |

15-2 コロナ禍の生活で、原発事故後の生活と重なること、もしくは、重ならないことについて、それぞれ、ご自由にお書きください。

## あなたの健康についてお聞きします

問16 ここ半年間のあなたの健康状態について、あてはまるもの一つに○をつけてください。

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. 良い     | 3. あまり良くない |
| 2. まあまあ良い | 4. 良くない    |

問17 ここ半年間に次の症状がありましたか。それぞれの項目について、あてはまるもの一つに○をつけてください。

	よくある	ときどきある	あまりない	まったくない
頭痛	1	2	3	4
腹痛・胃痛	1	2	3	4
嘔吐・下痢	1	2	3	4
食欲不振	1	2	3	4
せきやたんが出る	1	2	3	4
のどの痛み	1	2	3	4
皮膚のかゆみ	1	2	3	4
鼻血	1	2	3	4
肩こり	1	2	3	4
腰痛	1	2	3	4
手足の関節が痛む	1	2	3	4
生理の異常	1	2	3	4

17-1 ここ半年間に、上記の症状で医師の診断を受けたものはありますか。

ある方は、その診断名をお書きください。

1. ない
2. ある → ( )



問18 **この1ヶ月間**、以下のようなことはありましたか。

それぞれの項目について、**あてはまるもの一つに**○をつけてください。

	よくある	ときどきある	あまりない	まったくない
普段と比べて食欲が減ったり、増えたりしている	1	2	3	4
いつも疲れやすく、身体がだるい	1	2	3	4
寝つけなかったり、途中で目が覚めたりすることが多い	1	2	3	4
災害に関する不快な夢を見ることがある	1	2	3	4
憂うつで気分が沈みがちである	1	2	3	4
イライラしたり、怒りっぽくなったりする	1	2	3	4
ささいな音や揺れに、過敏に反応してしまうことがある	1	2	3	4
災害を思い出させるような場所や、人、話題などを避けてしまうことがある	1	2	3	4
思い出したくないのに災害のことを思い出することがある	1	2	3	4
以前は楽しんでいたことが楽しめなくなった	1	2	3	4
何かのきっかけで、災害を思い出して気持ちが動揺することがある	1	2	3	4
災害についてはもう考えないようにしたり、忘れようと努力したりしている	1	2	3	4

問19 **この1ヶ月間**、**どれくらいの頻度**で次のことがありましたか。

それぞれの項目について、**あてはまるもの一つに**○をつけてください。

	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったくない
神経過敏に感じた	1	2	3	4	5
絶望的だと感じた	1	2	3	4	5
そわそわ、落ち着かなく感じた	1	2	3	4	5
気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じた	1	2	3	4	5
何をするのも骨折りと感じた	1	2	3	4	5
自分は価値のない人間だと感じた	1	2	3	4	5



問27 対象者のお子さんの**お母さまとお父さまの現在のご職業**は、次のどれにあてはまりますか。  
それぞれについて、**あてはまる番号**を記入してください。

1. 管理職・・・会社・団体の役員や課長以上の管理職、議員、駅長など
2. 専門・技術職・・・弁護士、医師、教師、僧侶、税理士、研究・開発職など
3. 事務職・・・総務・企画事務、経理事務、ワープロ・オペレータ、校正など
4. 販売・営業職・・・販売員、小売店主、飲食店主、販売店主、外交員、外回りの営業など
5. サービス職・・・看護師、保育士、調理人、美容師、タクシー運転手、クリーニング職など
6. 生産工程・労務職・・・工場作業員、建設作業員、清掃員、トラック運転手、整備士、大工など
7. 保安職・・・警察官、消防士、警備員など
8. 農林漁業・・・農業、漁業、養畜、林業、造園師、植木職など
9. 無職

お母さま

お父さま

27-1 **ご職業の現在の雇用形態**は次のどれですか。  
それぞれについて、**あてはまる番号**を記入してください。

1. フルタイム雇用者（常時雇用者）
2. パート・アルバイト・契約社員・派遣社員
3. 自営業主、またはその家族従業者
4. 専業主婦（主夫）
5. 会社の経営者・役員
6. 失業中

お母さま

お父さま

問28 **過去1年間のあなたのお宅**（生計をともにしている家族）の**収入**は、**税込**でいくらぐらいでしたか。他のご家族の方の収入も含めてお答えください。

1. 200万円未満
2. 200万円～400万円未満
3. 400万円～600万円未満
4. 600万円～800万円未満
5. 800万円～1,200万円未満
6. 1,200万円以上

問29 **お宅の現在の家計の状態**についてどのようにお考えですか。

1. ゆとりがある
2. どちらかといえばゆとりがある
3. ふつう
4. どちらかといえば苦しい
5. かなり苦しい

問30 東日本大震災・福島原発事故から、まもなく10年になります。今の心境を率直にお書きください。

福島子ども健康プロジェクト ホームページ  
<https://fukushima-child-health.jimdo.com/>  
こちらからご覧になれます→

